



原発をなくす全国連絡会 ニュース

〒113-8465 東京都文京区湯島 2-4-4 平和と労働センター7F

<https://www.no-genpatu.jp> mail: no-nukes@min-iren.gr.jp



今こそ福島の実の復興と 原発ゼロの未来へ!!

12.18 全国大集会@オンライン

私たち原発をなくす全国連絡会はふくしま復興共同センターと共同で「東京電力福島第一原発事故から10年今こそ福島の実の復興と原発ゼロの未来へ! 12.18 全国大集会@オンライン」を開催しました。zoomとyoutubeで開催し、合わせて1050か所からたくさんの方にご視聴いただきました。youtubeでは3月まではご視聴できますので、福島の実の現状と原発ゼロの運動を広めてください。集会の資料等は原発をなくす全国連絡会HPに掲載しています。

You Tube



開会あいさつでは岸本啓介全日本民医連事務局長が、福島の実の現状を原点にした運動が原発ゼロ基本法案の野党共同提出につながったと強調。「参院選に向け、原発ゼロを掲げ市民と野党の共同の前進を進めよう」と呼びかけました。福島県楢葉町・宝鏡寺住職の早川篤雄さんがビデオメッセージで「事故の原因究明、原発推進の責任を明らかにすることが真の復興と原発ゼロへの第一歩だ」と語りました。

ふくしま復興共同センターの斎藤富春さんは国による復興政策が「避難者、自治体の実態ではなく、惨事便乗・大企業呼び込み型だ」と告発。国が一方向的に決めた「多核種除去設備 (ALPS=アルプス) 処理水の海洋放出についてコープふくしまの野中俊吉さんは「国民みんなが関係者です。署名や学習会などで反対世論を広げていく」と述べました。浪江・津島避難者訴訟原告

の石井ひろみさんは「事故で、先人たちが伝統・文化と培ってきたふるさとを離れざるを得なくなった」と報告しました。最高裁でのたたかいが続く「生業(なりわい)を返せ、地域を返せ! 福島原発訴訟」原告団長の中島孝さんは、「原発を国策で進めてきた国の責任を断罪する判決を勝ち取りたい」と話しました。日本共産党の笠井亮衆院議員、立憲民主党の金子恵美衆院議員、日本青年団協議会の棚田一論事務局長が連帯のあいさつをしました。北海道、島根、新潟、愛媛から各地の取組の報告がされました。

集会の最後には、ふくしま復興共同センター子どもチームの

皆さんが作成したアピール動画で、原発ゼロの未来を実現するための共同を呼びかけるアピールを採択しました。



事故を起こした事実と責任を
認めること、逃げないこと、
忘れないこと、
過去のものにしないこと。



国と東京電力に対して求め続けます!